

3 転倒事故

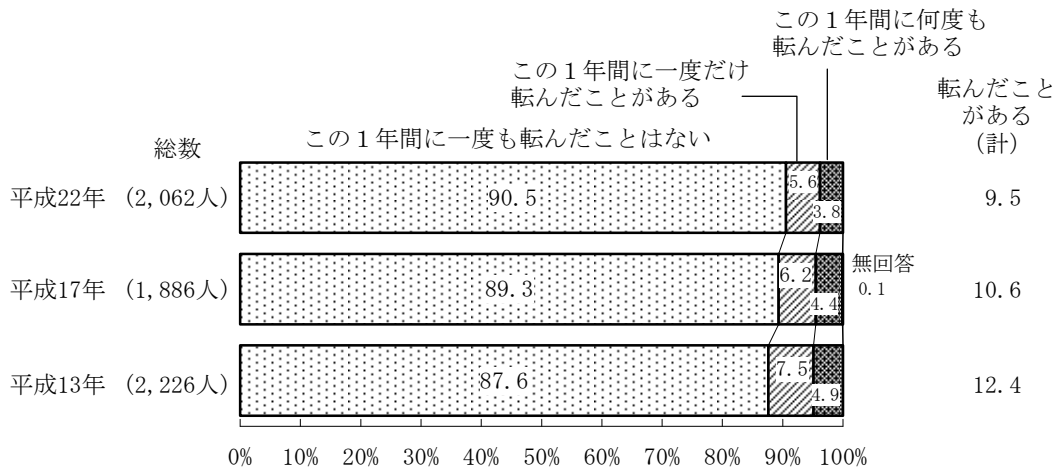
(1) 自宅における転倒事故

ア 自宅内での転倒事故 (Q16)

自宅内での転倒事故についてみると、この1年間に転んだことのある人は9.5%と、約1割の人が自宅内で転倒している。

過去の調査と比較すると、この1年間に転んだことのある人の割合は平成13年以降減少傾向である。

図3-1 自宅内での転倒事故 (Q16)



性別にみると、転んだことのある人は、男性 (6.8%) より女性 (11.8%) で割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるほど転倒事故の割合が高くなる傾向がみられ、85歳以上では19.4%と5人に1人の割合となっている。一方、70歳未満の転倒事故は10%未満となっている。

住宅の建て方別にみると、大きな差はみられない。

表3 - 1 自宅内での転倒事故 (%)

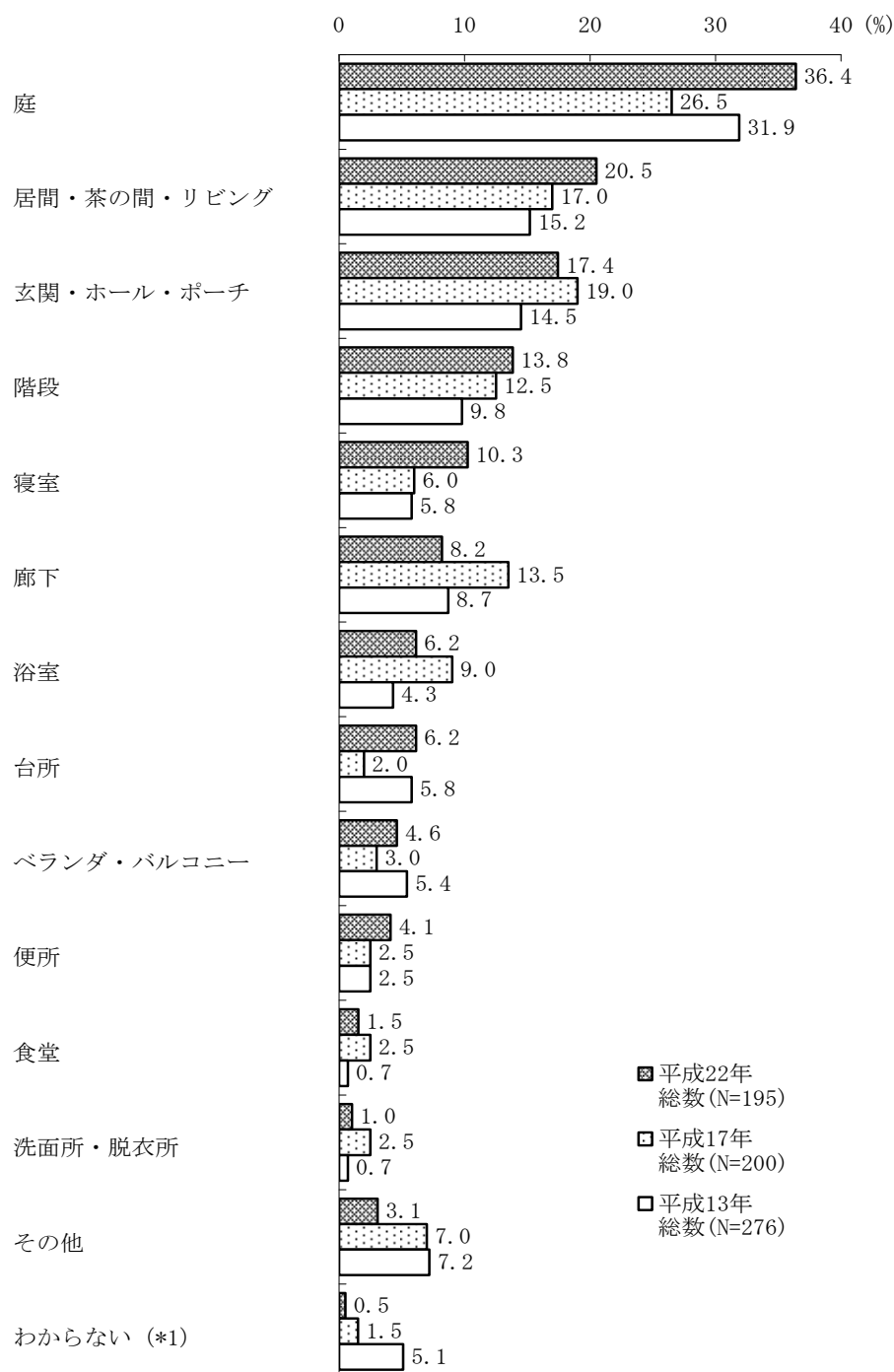
	総数	この1年間に一度も転んだことはない	この1年間に一度だけ転んだことがある	この1年間に何度も転んだことがある	転んだことがある(計)
【総数】	2062	90.5	5.6	3.8	9.5
【都市規模別】					
大都市	472	92.8	4.7	2.5	7.2
中都市	867	90.5	5.1	4.4	9.5
小都市	522	89.1	7.1	3.8	10.9
町村	201	89.1	6.5	4.5	10.9
【性別】					
男性	979	93.2	3.8	3.1	6.8
女性	1083	88.2	7.3	4.5	11.8
【年齢階級別】					
60～64歳	574	94.6	4.0	1.4	5.4
65～69歳	500	92.4	4.8	2.8	7.6
70～74歳	457	89.3	6.8	3.9	10.7
75～79歳	322	85.7	6.8	7.5	14.3
80～84歳	147	87.1	7.5	5.4	12.9
85歳以上	62	80.6	8.1	11.3	19.4
【健康状態別】					
良い	787	95.4	3.6	1.0	4.6
まあ良い	379	92.6	5.5	1.8	7.4
普通	533	90.1	6.8	3.2	9.9
あまり良くない	293	80.2	8.5	11.3	19.8
良くない	70	71.4	8.6	20.0	28.6
良好(計)	1166	94.5	4.2	1.3	5.5
不良(計)	363	78.5	8.5	12.9	21.5
【住宅の種類別】					
持ち家	1826	90.9	5.5	3.7	9.1
借家	236	88.1	6.8	5.1	11.9
【住宅の建て方別】					
一戸建て住宅	1770	90.1	6.0	3.8	9.9
集合住宅	286	93.0	3.1	3.8	7.0

イ 転倒した場所 (Q16SQ1)

転倒した場所についてみると、「庭」が36.4%と最も高く、次いで、「居間・茶の間・リビング」が20.5%、「玄関・ホール・ポーチ」が17.4%、「階段」が13.8%、「寝室」が10.3%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「庭」の割合は平成17年調査より約10ポイント増加している。また、「居間・茶の間・リビング」、「階段」、「寝室」も、平成13年以降増加傾向となっている。

図3-2 転倒した場所 (Q16SQ1) (複数回答)



(*1) 平成13、17年は「無回答」

性別にみると、男女とも「庭」の割合が最も高く、次いで、「居間・茶の間・リビング」の順となっている。

年齢階級別にみると、「庭」は84歳以下では年齢階級が上がるほど割合が高くなっている。

表3 - 2 転倒した場所（複数回答）

(%)

	該当数	庭	居間・茶の間・リビング	玄関・ホール・ポーチ	階段	寝室	廊下	浴室
【総数】	195	36.4	20.5	17.4	13.8	10.3	8.2	6.2
【都市規模別】								
大都市	34	20.6	17.6	11.8	23.5	8.8	17.6	5.9
中都市	82	41.5	20.7	18.3	13.4	13.4	7.3	8.5
小都市	57	45.6	19.3	19.3	10.5	7.0	5.3	5.3
町村	22	18.2	27.3	18.2	9.1	9.1	4.5	-
【性別】								
男性	67	38.8	16.4	10.4	13.4	4.5	10.4	6.0
女性	128	35.2	22.7	21.1	14.1	13.3	7.0	6.3
【年齢階級別】								
60～64歳	31	29.0	12.9	19.4	19.4	6.5	-	3.2
65～69歳	38	36.8	5.3	21.1	18.4	7.9	15.8	7.9
70～74歳	49	38.8	18.4	16.3	16.3	-	6.1	6.1
75～79歳	46	41.3	37.0	13.0	10.9	23.9	2.2	4.3
80～84歳	19	47.4	10.5	21.1	5.3	10.5	21.1	10.5
85歳以上	12	8.3	50.0	16.7	-	16.7	16.7	8.3
【健康状態別】								
良い	36	30.6	13.9	13.9	27.8	5.6	2.8	2.8
まあ良い	28	50.0	21.4	21.4	3.6	7.1	3.6	3.6
普通	53	37.7	11.3	18.9	17.0	5.7	5.7	1.9
あまり良くない	58	34.5	25.9	13.8	6.9	10.3	10.3	8.6
良くない	20	30.0	40.0	25.0	15.0	35.0	25.0	20.0
良好（計）	64	39.1	17.2	17.2	17.2	6.3	3.1	3.1
不良（計）	78	33.3	29.5	16.7	9.0	16.7	14.1	11.5
【住宅の種類別】								
持ち家	167	37.7	18.6	17.4	14.4	10.8	8.4	4.2
借家	28	28.6	32.1	17.9	10.7	7.1	7.1	17.9
【住宅の建て方別】								
一戸建て住宅	175	38.9	18.3	18.3	13.7	9.7	7.4	4.0
集合住宅	20	15.0	40.0	10.0	15.0	15.0	15.0	25.0

	台所	ベランダ・バルコニー	便所	食堂	洗面所・脱衣所	その他	わからない	回答計
【総数】	6.2	4.6	4.1	1.5	1.0	3.1	0.5	133.8
【都市規模別】								
大都市	8.8	5.9	-	-	-	5.9	-	126.5
中都市	4.9	4.9	3.7	2.4	2.4	-	1.2	142.7
小都市	5.3	3.5	3.5	1.8	-	7.0	-	133.3
町村	9.1	4.5	13.6	-	-	-	-	113.6
【性別】								
男性	3.0	3.0	6.0	1.5	-	4.5	1.5	119.4
女性	7.8	5.5	3.1	1.6	1.6	2.3	-	141.4
【年齢階級別】								
60～64歳	12.9	12.9	-	3.2	3.2	3.2	3.2	129.0
65～69歳	2.6	2.6	2.6	-	-	5.3	-	126.3
70～74歳	4.1	4.1	2.0	-	-	4.1	-	116.3
75～79歳	10.9	4.3	4.3	2.2	2.2	-	-	156.5
80～84歳	-	-	10.5	-	-	-	-	136.8
85歳以上	-	-	16.7	8.3	-	8.3	-	150.0
【健康状態別】								
良い	5.6	8.3	-	2.8	-	5.6	2.8	122.2
まあ良い	-	-	-	-	-	-	-	110.7
普通	5.7	3.8	1.9	1.9	-	3.8	-	115.1
あまり良くない	8.6	5.2	5.2	-	1.7	1.7	-	132.8
良くない	10.0	5.0	20.0	5.0	5.0	5.0	-	240.0
良好（計）	3.1	4.7	-	1.6	-	3.1	1.6	117.2
不良（計）	9.0	5.1	9.0	1.3	2.6	2.6	-	160.3
【住宅の種類別】								
持ち家	6.0	4.8	3.6	0.6	1.2	2.4	0.6	130.5
借家	7.1	3.6	7.1	7.1	-	7.1	-	153.6
【住宅の建て方別】								
一戸建て住宅	6.3	3.4	3.4	0.6	0.6	2.9	0.6	128.0
集合住宅	5.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	-	185.0

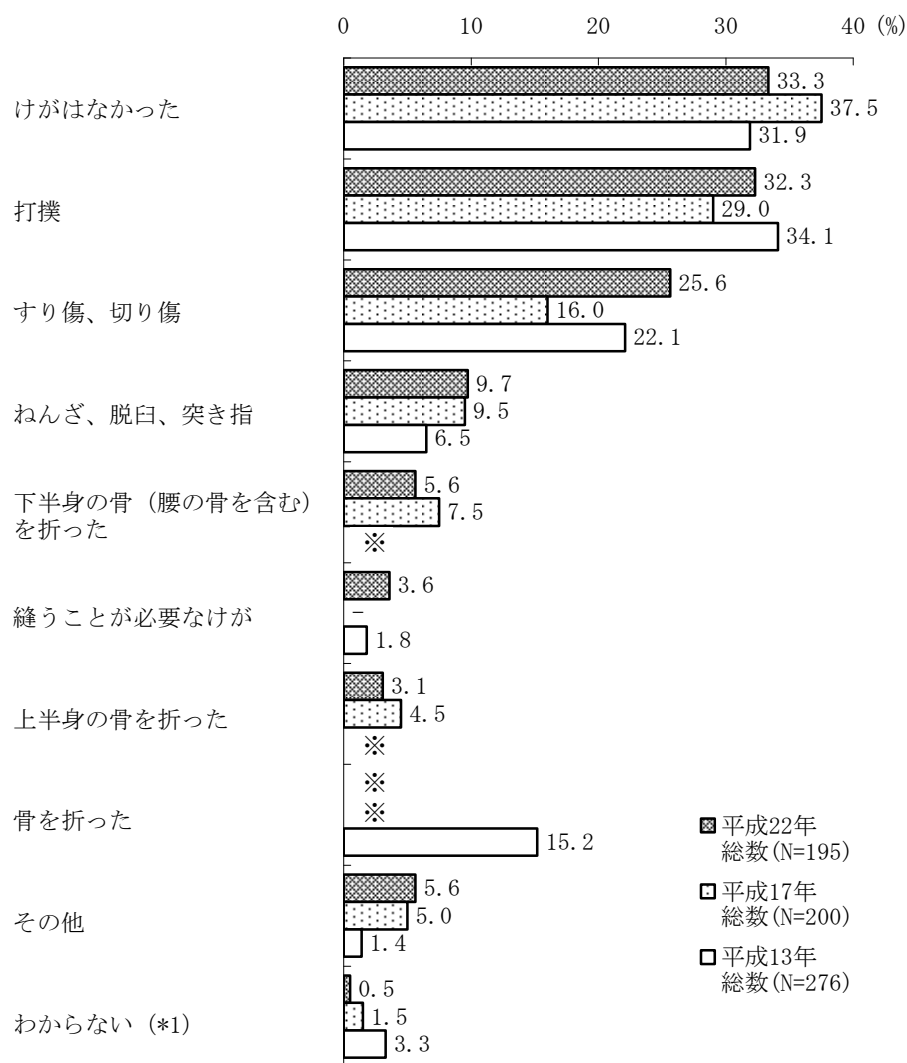
ウ けがの有無等 (Q 1 6 S Q 2)

自宅で転倒した人のけがの状況についてみると、「けがはなかった」が33.3%で、転倒した人の3人に2人が何らかのけがを負っている。

けがの症状をみると、「打撲」が32.3%と最も高く、次いで、「すり傷、切り傷」が25.6%、「ねんざ、脱臼、突き指」が9.7%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「けがはなかった」は平成17年調査よりやや減少している。けがの症状で平成17年調査より増加の割合が大きいのは「すり傷、切り傷」となっている。

図3 - 3 けがの有無等 (Q 1 6 S Q 2) (複数回答)



(注) ※は調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの

(*1) 平成13、17年は「無回答」

性別にみると、「けがはなかった」は、男性が44.8%に対し、女性は27.3%で、転倒した場合、男性に比べて女性の方がけがをする割合が高くなっている。

けがの症状では、いずれも男性より女性の割合がやや高くなっている。

表3-3 けがの有無等 (複数回答) (%)

	該当数	けがは なかった	打撲	すり 傷、切 り傷	ねん ざ、脱 臼、突 き指	下半身 の骨を 折った	縫うこ とが必 要なけ が	上半身 の骨を 折った	その他	わか らな い	回答計
【総数】	195	33.3	32.3	25.6	9.7	5.6	3.6	3.1	5.6	0.5	119.5
【都市規模別】											
大都市	34	35.3	35.3	17.6	5.9	2.9	2.9	2.9	11.8	-	114.7
中都市	82	30.5	34.1	28.0	9.8	3.7	3.7	4.9	3.7	1.2	119.5
小都市	57	36.8	29.8	31.6	14.0	3.5	1.8	1.8	3.5	-	122.8
町村	22	31.8	27.3	13.6	4.5	22.7	9.1	-	9.1	-	118.2
【性別】											
男性	67	44.8	28.4	23.9	6.0	1.5	1.5	3.0	3.0	1.5	113.4
女性	128	27.3	34.4	26.6	11.7	7.8	4.7	3.1	7.0	-	122.7
【年齢階級別】											
60～64歳	31	35.5	25.8	29.0	9.7	-	-	-	6.5	3.2	109.7
65～69歳	38	34.2	36.8	21.1	18.4	5.3	2.6	5.3	2.6	-	126.3
70～74歳	49	22.4	34.7	32.7	8.2	6.1	4.1	2.0	4.1	-	114.3
75～79歳	46	39.1	34.8	21.7	6.5	4.3	6.5	4.3	8.7	-	126.1
80～84歳	19	31.6	26.3	31.6	10.5	15.8	-	-	5.3	-	121.1
85歳以上	12	50.0	25.0	8.3	-	8.3	8.3	8.3	8.3	-	116.7
【健康状態別】											
良い	36	41.7	25.0	22.2	11.1	-	-	5.6	11.1	2.8	119.4
まあ良い	28	39.3	32.1	17.9	7.1	7.1	7.1	-	-	-	110.7
普通	53	26.4	34.0	28.3	11.3	3.8	5.7	3.8	3.8	-	117.0
あまり良くない	58	32.8	36.2	24.1	6.9	8.6	1.7	3.4	5.2	-	119.0
良くない	20	30.0	30.0	40.0	15.0	10.0	5.0	-	10.0	-	140.0
良好(計)	64	40.6	28.1	20.3	9.4	3.1	3.1	3.1	6.3	1.6	115.6
不良(計)	78	32.1	34.6	28.2	9.0	9.0	2.6	2.6	6.4	-	124.4
【住宅の種類別】											
持ち家	167	32.3	34.7	26.9	8.4	5.4	3.6	3.0	4.8	0.6	119.8
借家	28	39.3	17.9	17.9	17.9	7.1	3.6	3.6	10.7	-	117.9
【住宅の建て方別】											
一戸建て住宅	175	32.6	33.7	26.9	9.1	5.7	3.4	2.9	4.6	0.6	119.4
集合住宅	20	40.0	20.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0	15.0	-	120.0